

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：教育総務課] P. 371

0501 総務事務に要する経費 2,958,406 円 (2,231,885 円)

[その他 78,000 円 一財 2,880,406 円]

＊ 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 78,000 円]

○ 目的

教育委員会事務点検評価委員謝礼や消耗品費、事務機器使用料をはじめとした事務経費である。また、令和 6 年度においては、戸頭小学校における学校徴収金等の不適切な会計処理に伴う未返還金の支払を進めるための費用を計上する。

○ 内容

経常的な支出以外での主な内容は次のとおり。

- ・ 損害賠償金（遅延損害金） 50 名分 354,367 円
- ・ 通信運搬費（戸頭小学校学校徴収金等未返還金の支払手続に係る郵送料）
174,620 円
- ・ 学校記念誌作成補助金（山王小学校創立 150 周年記念誌・取手東小学校創立 10 周年記念誌） 144,375 円

○ 効果

教育委員会の事務点検評価を適正に行うとともに、戸頭小学校における学校徴収金等の未返還金の支払手続を進めることができた。

[担当：学務課] P. 373

2201 通学送迎に要する経費 19,353,102 円 (19,078,911 円)

[その他 7,310,000 円 一財 12,043,102 円]

＊ 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 7,310,000 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童生徒が安全に通学できる手段を確保する。

○ 内容

通学送迎委託料 17,491,870 円

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ・ 取手小学校・取手第一中学校（小堀地区） | 5,148,000 円 |
| ・ 取手東小学校（小文間地区） | 7,920,000 円 |
| ・ 永山小学校（市之代・貝塚地区） | 3,234,000 円 |
| ・ 桜が丘小学校（大留地区） | 1,189,870 円 |

○ 効果

対象児童生徒に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

〔担当：学務課〕 P.375

2301 教育情報機器整備に要する経費 206,825,596 円 (226,161,208 円)

〔国・県 2,249,000 円 一財 204,576,596 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金 2,249,000 円〕

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うために、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。また、GIGA スクール構想の更なる進展のためにネットワーク環境管理や ICT 授業支援を行う。

○ 内容

小中学校において、児童生徒が ICT 機器を活用した授業及び教職員が校務事務を円滑に実施するために、教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築することで、事務の効率化と個人情報の保護を図った。

・ ICT 活用教育支援スタッフ業務委託料	28,030,860 円
・ 教育センターシステムクラウド運用管理委託料	7,435,340 円
・ 教育センターシステムクラウド使用料	67,065,120 円
・ 校務支援システム使用料	8,751,600 円
・ 教職員用パソコン使用料	17,809,200 円
・ 指導者用タブレットパソコン使用料	23,628,000 円
・ 校務用パソコン使用料	23,331,000 円

○ 効果

教育情報ネットワークの活用により、教育委員会と小中学校の事務の効率化と個人情報の保護が図られた。また、校務用パソコンの更新により端末の性能が向上したことで、教職員の事務がより一層効率化された。

1 教育総務費 3 育英事業費

〔担当：教育総務課〕 P.377

2101 奨学生貸付金 2,880,000 円 (3,360,000 円)

〔その他 2,880,000 円〕

＊ 特財内訳

〔諸収入：奨学金貸付金元利収入 2,880,000 円〕

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生の学業に必要な資金として奨学金を貸し付け、高等教育の機会均等を図る。

○ 内容

貸付額 国公立大学：月額 30,000 円、私立大学：月額 40,000 円

貸付者数

種別	R6 (内 新規貸付)	R5 (内 新規貸付)	R4 (内 新規貸付)
国公立大学	0 名	0 名	0 名
私立大学	6 名 (0)	7 名 (3)	5 名 (1)
合計	6 名 (0)	7 名 (3)	5 名 (1)

○ 効果

経済的負担の軽減を通して教育の機会を拡大するとともに、未来を担う人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

〔担当：指導課〕 P.377

0501 教育振興に要する経費 94,233,329 円（114,607,811 円）

〔国・県 308,000 円 その他 4,680,454 円 一財 89,244,875 円〕

＊ 特財内訳

〔県補：原子力・エネルギー教育支援事業補助金 308,000 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 4,670,000 円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 10,454 円〕

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の大きな社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育むことができるよう、英語指導助手との連携による授業、地域人材を活用した授業など、教育の充実を図る。

○ 内容

- ・ 英語指導助手業務委託料 66,457,644 円

英語指導助手（ALT）15 人（小学校 8 人・中学校 7 人配置）を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際教育の充実を図った。

- ・ 地域人材活用事業講師謝礼 308,000 円
- ・ 理科教育用教材購入 308,000 円

○ 効果

小学校では全ての外国語の授業で ALT を配置し、中学校では 1 校に 1 名以上の ALT を配置することにより、外国語に慣れ親しむ環境を提供し、外国語学習への意欲を高めることができた。また、学習指導要領外国語の言語活動の要となる「外国語による本物のコミュニケーション」を図ることができた。

〔担当：指導課〕 P.379

1001 特別支援教育に要する経費 6,386,634 円（6,629,621 円）

〔その他 25,164 円 一財 6,361,470 円〕

＊ 特財内訳

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 25,164 円〕

○ 目的

特別な教育的支援を必要とする幼児・児童生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市立小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

- (1) 特別支援教育相談員等の配置

幼児の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行った。

・相談件数

区分	R6	R5
未就学児	122 件	96 件

(2) 教育支援委員会の実施

特別な教育的支援を必要とする幼児・児童生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する教育支援委員会において、適切な支援や学びの場についての審議を実施した。

・判定人数

区分	R6	R5
新学齢児	66 人	70 人
在学児童生徒	157 人	135 人

・特別支援教育相談員報酬（4 人分） 4,058,166 円

・発達検査謝礼 768,000 円

○ 効果

特別な教育的支援を必要とする幼児・児童生徒が抱える課題について早期に発見できたことにより、幼児教育施設と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。

また、市立小中学校における特別支援教育に対する校内体制を充実させることができた。

〔担当：指導課〕 P. 381

2401 教育相談に要する経費 49,318,985 円 (37,150,235 円)

〔その他 67,139 円 一財 49,251,846 円〕

＊ 特財内訳

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 67,139 円〕

○ 目的

令和 2 年 4 月より (1) 全員担任制（小学校はチーム指導）、(2) 教育相談部会システム、(3) 2 学期制からなる取手市の新しい学校教育 3 つの取組を開始した。また、令和 6 年 7 月より不登校対応支援員を配置し、不登校を未然に防ぐための取組を開始した。

スクールカウンセラー・スーパーバイザーと学校連携支援員が、各学校の教育相談部会に参加し、児童生徒の悩みや困りごとに学校がチームで支援できるようサポートしていく。また、学校教育相談員やスクールソーシャルワーカーにより適切な支援を行う。

○ 内容

・学校連携支援員報酬	5,359,844 円
・学校教育相談員報酬	6,058,800 円
・スクールソーシャルワーカー報酬	2,871,000 円
・いじめ問題専門委員会委員報酬	8,791,500 円
・不登校対応支援員報酬	1,045,479 円
・子どもと親の相談員謝礼	3,851,000 円
・教育資質・能力向上研修講師謝礼	821,000 円
・スクールロイヤー委託料	1,729,750 円

・スクールカウンセラー・スーパーバイザー支援業務委託料	8,853,870 円
・Q-Uテスト実施業務委託料	2,878,656 円
・代理人委託料	1,339,560 円
・いじめ防止アプリ使用料	712,470 円

○ 効果

学校連携支援員を中心に各学校の教育相談部会に参加し、児童生徒の悩みや困りごとに学校がチームで対応できるようサポートすることができた。また、スクールカウンセラー・スーパーバイザー、スクールソーシャルワーカーが、専門的な支援を行うことで、教育相談部会システムの推進を図ることができた。

不登校対応支援員が、各学校に助言や支援を行い、不登校を未然に防ぐ取組を進めることができた。

子どもたちに焦点をあて、子どもたちを育んでいく学校づくりを目指していくため、外部講師を招き教職員一斉研修会を開催することで、多くの学びを得ることができた。

【担当：指導課】 P. 383

2501 特色ある新しい学校教育の推進に要する経費 5,095,734 円（5,127,751 円）

〔その他 3,560,000 円 一財 1,535,734 円〕

* 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,560,000 円〕

○ 目的

地域資産であるアートの取組を生かし、取手市ならではの特色ある新しい学校教育を創出する。

○ 内容

令和3年度より山王小学校は小規模特認校へ移行し、小学校6年間における「創造する力、表現する力」を育む新たな特色ある学校教育を展開し、市内から幅広く就学児童の受入れを行っている。

・アーティストと児童の交流事業委託料 5,095,734 円

〔となりのスタジオ〕

外国籍のアーティストが学校に短期滞在し、児童とアーティストが共に活動するスタジオを開設する。子どもたちは英語の授業で習得した知識と経験を活用して、日本語を母国語としないアーティストと対話をしたり、一緒に作業をしたりすることを通じて、多様な文化、創造のプロセスを体験する。

〔大地からはじまること〕

自然を芸術に取り入れているアーティストと、自分たちの生活の周りに当たり前にある自然環境から、自分たちの手でものを生み出していくことができることを体感する。校庭や学校周辺の土を採取すること、土を練ること、土器を作陶すること、薪を割ること、野焼き（焼成）することなどを通じて、教科等で得た知識を体験活動に生かすプログラムを実施する。

また、体験活動を通じて生じる疑問や課題について改めて教科等の中で探究するような教科と体験活動との間の循環を創出するとともに、社会を理解する多様な視点や価値観への気づきを促す。プログラム設計に当たっては、異学年による取組み、教職員、保護者、

地域の方々との協働が生まれる運営設計を行う。

[サマーアートキャンプ]

市内の小学生、保護者を対象に、「大地からはじまること」の授業のノウハウを生かし、小規模特認校の特色ある教育活動を広く周知、体験することを目的としたプログラムを実施する。

○ 効果

となりのスタジオでは、海外のアーティストと交流を通じて、子どもたちは自由に発想したり多様な表現方法に触れたりすることができ、創造すること・表現することへの喜びを味わうとともに自信にもつながった。

大地からはじまることでは、身近な自然を素材にしたものづくりを通して、試行錯誤しながら自分らしい表現方法を見つける力を養った。

サマーアートキャンプでは、山王小以外の子どもたちも専門家から直接指導を受けることで質の高い芸術に触れることができ、さらに地域の企業の施設見学もあり、地域への理解と愛着を深めることができた。

[担当：指導課] P. 383

4201 日本語指導員に要する経費 2,586,905 円 (1,481,485 円)

[一財 2,586,905 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を通して、学校生活を支援する。

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者への通訳等

○ 内容

・日本語指導員報酬 2,338,458 円

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
R6	7 人	中国語 4 人 ポルトガル語 2 人 英語 1 人
R5	6 人	中国語 3 人 ポルトガル語 2 人 英語 1 人

○ 効果

日本語指導員が支援することにより、帰国児童生徒及び外国人児童生徒の学校生活への適応が図られた。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：子ども青少年課] P. 385

1001 青少年健全育成に要する経費 11,230,203 円 (11,096,586 円)

[国・県 49,660 円 その他 17,839 円 一財 11,162,704 円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 49,660 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 17,839 円]

○ 目的

青少年特別相談員報酬、青少年相談員謝礼の他、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を目的とする。

○ 内容

地域でこどもを見守る体制づくり活動を実施する特定非営利活動法人に対して、令和5年度に引き続き補助金を交付した。

＜取手市みんなの補助金（協働提案型公募補助制度）＞

- ・こども食堂事業補助金 500,000 円

○ 効果

地域のこどもが、学校や家庭とは趣の異なるこども食堂に集まり、地域の高校生やボランティアの方と一緒に宿題や遊びなどを行い、温かい食事を取ることができる居場所づくりを支援することができた。

2 小学校費 1 学校管理費

〔担当：学務課〕 P.389

2001 小学校管理に要する経費 313,161,011 円 (303,321,194 円)

〈31,680,000 円〉※〈 〉は、うち5年度繰越分

〔国・県〈10,424,000 円〉 地方債〈20,700,000 円〉

その他 12,628,625 円〈556,000 円〉 一財 269,408,386 円〕

* 特財内訳

〔国補：学校施設環境改善交付金〈10,424,000 円〉〕

〔市債：小学校施設整備事業債

〈(31,272,000 円－10,424,000 円)×100%≒20,700,000 円〉〕

〔使用料：学校開放小学校体育館使用料 1,694,980 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 9,860,000 円〕

〔繰越金：前年度繰越金〈556,000 円〉〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 118,870 円〕

〔諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 398,775 円〕

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ「確かな学力」へとつなげる。

○ 内容

- ・学校活性化 TT 講師報酬 5,566,624 円

小学校6校（永山小、取手西小、山王小、六郷小、久賀小、桜が丘小）に TT（ティームティーチング）講師を配置し、課題別学習や多様な学習、個々に応じた学習を行い、児童の基礎学力の定着を図った。

- ・教育補助員報酬 85,841,234 円

教育補助員を全小学校に配置し、児童の学校生活の支援を行った。

- ・学校司書報酬 14,327,830 円

学校司書を全小学校に配置し、学校図書室の整備を図った。

- ・遊具更新工事 〈31,680,000 円〉

小学校4校（取手小、六郷小、久賀小、桜が丘小）の老朽化した遊具を更新した。

○ 効果

- ・TT 講師の配置により個々に応じた対応ができ、基礎的な学力の定着が図られた。
- ・教育補助員を配置することで、児童の学校生活を支援することができた。
- ・学校司書を配置することで、学校図書室の充実が図られた。
- ・小学校の遊具を更新することで、児童に対して安全な遊具を提供することができた。

〔担当：保健給食課〕 P. 393

2201 小学校保健衛生に要する経費 26,115,433 円 (27,083,186 円)

〔国・県 91,480 円 その他 1,745,240 円 一財 24,278,713 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 91,480 円〕

〔負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 1,745,240 円〕

○ 目的

健康診断の実施や学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医（学校産業医）及び学校歯科医、学校薬剤師の報酬 13,042,000 円

区分	学校医（うち学校産業医）	学校歯科医	学校薬剤師
人数	24 名（14 名）	22 名	14 名

- ・児童・教職員集団検診委託料 4,538,435 円

児童

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	4 学年	1 学年	精密検査対象者	4 学年
R6	4,202 人	496 人	662 人	11 人	496 人
R5	4,274 人	507 人	715 人	6 人	507 人

教職員

区分	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・腹囲測定
R6	87 人	88 人	10 人	87 人	87 人	88 人
R5	90 人	90 人	12 人	89 人	90 人	90 人

- ・教職員の「心の健康チェック」（ストレスチェック）の実施 236,610 円
- ・学校環境衛生検査の実施（簡易専用水道検査） 184,800 円

○ 効果

児童及び教職員の健康の保持増進が図られた。

2 小学校費 2 教育振興費

〔担当：学務課〕 P. 395

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 27,640,747 円 (23,233,723 円)

〔国・県 702,000 円 その他 17,690,000 円 一財 9,248,747 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：理科教育設備整備費等補助金 702,000 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 17,690,000 円〕

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

- ・各学校に算数セット及び彫刻刀を配置した。 4,745,114 円
- ・児童用教材、図書及び理科教材を整備した。

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図書	合計
R6	7,670,317	2,953,673	11,115,599	21,739,589
R5	8,652,048	2,447,544	10,924,715	22,024,307

○ 効果

各教科の指導を進める上で不可欠な児童用教材、図書及び理科教材を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

また、各学校に算数セット及び彫刻刀を配置することで、保護者の負担軽減が図られた。

【担当：学務課】 P.395

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 43,154,086 円 (42,115,312 円)

〔国・県 4,390,000 円 一財 38,764,086 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：要保護児童就学援助費補助金 33,000 円〕

〔国補：特別支援教育就学奨励費補助金 4,357,000 円〕

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

- ・要保護・準要保護児童就学援助者数（在校生）

区分	要保護数	準要保護数	合 計
R6	15 人	429 人	444 人
R5	15 人	466 人	481 人

- ・入学準備金支給者数

区分	申請者数	支給者数
R6	68 人	59 人
R5	54 人	50 人

- ・特別支援教育就学奨励者数

区分	在籍者数	該当者数
R6	351 人	252 人
R5	316 人	208 人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.397

2101 小学校施設整備に要する経費 27,683,055円 (3,516,719円)

[地方債 24,000,000円 一財 3,683,055円]

* 特財内訳

[市債：緊急防災・減災事業債 24,098,000円 $\times 100\% \div 24,000,000$ 円]

○ 目的

猛暑による児童の熱中症リスク低減及び避難所開設時の居住環境整備を目的として、小学校体育館空調設備設置工事に伴う実施設計を行い、令和7年度着工に向けて準備を進める。

また、各小学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

- ・空調設備設置工事实施設計業務委託料 24,097,480円
- ・施設管理営繕工事 3,389,080円
- ・消耗品費 196,495円

○ 効果

小学校体育館空調設備設置工事に伴う実施設計を行い、令和7年度に速やかに着工できる準備が整った。

また、各小学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図ることができた。

[担当：教育総務課] P.397

2203 小学校建設事業に要する経費（白山小学校） 410,478,000円 (771,979,000円)

〈404,780,000円〉※〈〉は、うち5年度繰越分

[国・県〈55,322,000円〉 地方債 351,300,000円〈349,400,000円〉

その他 3,298,000円〈58,000円〉 一財 558,000円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金〈55,322,000円〉]

[市債：小学校施設整備事業債

〈(165,966,000円－55,322,000円) $\times 100\% \div 110,600,000$ 円〉]

[市債：小学校施設整備事業債〈238,814,000円 $\times 100\% \div 238,800,000$ 円〉]

[市債：緊急防災・減災事業債 1,977,000円 $\times 100\% \div 1,900,000$ 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,240,000円]

[繰越金：前年度繰越金〈58,000円〉]

○ 目的

白山小学校校舎及び体育館の長寿命化改良工事に係る第4期工事の設計単価見直し及び第3期工事を行い、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

- ・登記申請書類作成業務委託料 121,000円
- ・小学校校舎・体育館長寿命化改良工事設計単価見直し業務委託料 5,577,000円
- ・小学校校舎・体育館長寿命化改良工事監理業務委託料 〈6,800,000円〉
- ・小学校校舎・体育館長寿命化改良工事 〈397,980,000円〉

○ 効果

部材の納品遅延により工期が延長されたものの、白山小学校校舎及び体育館の長寿命化改良工事の第3期工事として校舎の長寿命化改良工事等を行うことにより、安全かつ快適な教育環境の整備が図られた。また、第4期工事の設計単価見直しを行うことにより、令和7年度の第4期工事が速やかに着工できる準備が整った。

〔担当：教育総務課〕 P. 399

2213 小学校建設事業に要する経費（高井小学校） 469,260,000 円（17,897,000 円）
〈469,260,000 円〉※〈〉は、うち5年度繰越分
〔国・県〈92,187,000 円〉 地方債〈359,300,000 円〉 その他〈17,773,000 円〉〕

* 特財内訳

〔国負：公立学校施設整備費負担金〈79,191,000 円〉〕

〔国補：学校施設環境改善交付金〈12,996,000 円〉〕

〔市債：小学校施設整備事業債

〈(158,382,000 円－79,191,000 円)×90%≒71,200,000 円〉〕

〔市債：小学校施設整備事業債

〈(19,474,000 円－9,737,000 円)×100%≒9,700,000 円〉〕

〔市債：小学校施設整備事業債〈91,201,000 円×100%≒91,200,000 円〉〕

〔市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債

〈(6,518,000 円－3,259,000 円)×100%≒3,200,000 円〉〕

〔市債：合併特例債〈193,685,000×95%≒184,000,000 円〉〕

〔繰越金：前年度繰越金〈17,773,000 円〉〕

○ 目的

高井小学校の児童数増加により、普通教室の不足が見込まれることから、校舎の増築工事を行い、児童等が支障なく学校生活を送れる環境を整備する。

○ 内容

・校舎増築工事 〈469,260,000 円〉

○ 効果

部材の破損・再製作により工期が延長されたものの、校舎の増築工事を行うことにより、児童数の増加に対応した教育環境の充実が図られた。

〔担当：教育総務課〕 P. 399

2221 小学校建設事業に要する経費（戸頭小学校） 25,740,000 円（1,672,000 円）
〈25,740,000 円〉※〈〉は、うち5年度繰越分
〔国・県〈12,174,000 円〉 地方債〈13,400,000 円〉 その他〈166,000 円〉〕

* 特財内訳

〔国補：学校施設環境改善交付金〈12,174,000 円〉〕

〔市債：小学校施設整備事業債〈1,392,000 円×100%≒1,300,000 円〉〕

〔市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債

〈(24,348,000 円－12,174,000 円)×100%≒12,100,000 円〉〕

〔繰越金：前年度繰越金〈166,000 円〉〕

○ 目的

戸頭小学校校舎及び体育館のバリアフリー改修工事を行い、児童等が支障なく学校生活を送れる環境を整備する。

○ 内容

- ・バリアフリー改修工事 〈25,740,000 円〉

○ 効果

バリアフリー改修工事を行うことにより、児童等が支障なく学校生活を送ることができるようになり、さらなる教育環境の充実が図られた。

2 小学校費 4 学校給食費

〔担当：保健給食課〕 P.399

2001 給食運営に要する経費 336,389,825 円 (311,791,892 円)

〔その他 164,679,568 円 一財 171,710,257 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,240,000 円〕

〔諸収入：小学校給食代自校分 163,377,553 円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 28,283 円〕

〔諸収入：廃食用油売却代 33,732 円〕

○ 目的

児童に安全な食材による給食を提供することで、望ましい食習慣の形成を図るとともに、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

- ・賄材料費 171,452,000 円

- ・委託料

(単位：円)

項目	内容	金額
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (8 校)	1,118,000
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託 (8 校)	136,628,800
学校給食室施設管理業務委託料	学校給食室施設(センター受配校配膳室含む)の総合管理委託 (14 校) ○小荷物専用昇降機保守点検 ○給食室用換気設備清掃 ○病虫害防除 ○給食室空調設備保守点検 ○調理器具・設備等の簡易修繕ほか	7,315,823

○ 効果

各種設備等の清掃や保守点検等を総合管理委託することにより、迅速に適正な施設運営を図ることができた。また、地産地消食材を使用した献立や SDGs 献立による給食を提供し、児童に給食を通して食への関心を深めることができた。

〔担当：保健給食課〕 P.401

2003 物価高騰に伴う給食費負担軽減事業に関する経費 31,063,318 円
(22,276,000 円)

〈25,718,000 円〉※ 〈 〉は、うち5年度繰越分

[国・県〈20,203,000 円〉 その他〈5,515,000 円〉 一財 5,345,318 円]

＊ 特財内訳

[国補：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金〈20,203,000 円〉]

[繰越金：前年度繰越金〈5,515,000 円〉]

○ 目的

食材費が高騰する中、保護者に負担増を求めず現在の栄養のバランスや質、量を保った給食を提供する。

○ 内容

・賄材料費 31,063,318 円

○ 効果

食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持し、学校給食を提供することができた。

[担当：保健給食課] P.401

2101 給食施設整備に要する経費 7,331,148 円 (6,644,495 円)

[その他 4,940,000 円 一財 2,391,148 円]

＊ 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,570,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,370,000 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

・修繕料（施設や給食室内機器等の修繕） 1,855,711 円

・備品購入費（戸頭小学校回転釜等） 5,475,437 円

○ 効果

給食室・配膳室内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P.403

2001 中学校管理に要する経費 94,821,900 円 (84,251,661 円)

[その他 5,859,205 円 一財 88,962,695 円]

＊ 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 618,650 円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 106,330 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,080,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 54,225 円]

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ「確かな学力」へとつなげる。

○ 内容

- ・教育補助員報酬 2,419,320 円
教育補助員を3校（取手第一中学校、取手第二中学校、藤代中学校）に配置し、生徒の学校生活の支援を行った。
- ・学校司書報酬 5,652,752 円
学校司書を全中学校に配置し、学校図書室の整備を図った。

○ 効果

- ・教育補助員を配置することで、生徒の学校生活を支援することができた。
- ・学校司書を配置することで、学校図書室の充実が図られた。

〔担当：保健給食課〕 P.407

2201 中学校保健衛生に要する経費 14,040,368 円（13,838,286 円）

〔国・県 52,870 円 その他 879,060 円 一財 13,108,438 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 52,870 円〕

〔負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 879,060 円〕

○ 目的

健康診断の実施や、学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医（学校産業医）及び学校歯科医、学校薬剤師の報酬 6,594,000 円

区分	学校医（うち学校産業医）	学校歯科医	学校薬剤師
人数	13 名（6 名）	11 名	6 名

- ・生徒・教職員集団検診委託料 3,668,115 円

生徒

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2 学年	1 学年	精密検査対象者	2 学年
R6	2,168 人	521 人	723 人	5 人	521 人
R5	2,210 人	510 人	754 人	3 人	510 人

教職員

区分	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・腹囲測定
R6	55 人	55 人	5 人	54 人	55 人	55 人
R5	54 人	54 人	6 人	54 人	54 人	54 人

- ・教職員の「心の健康チェック」（ストレスチェック）の実施 127,820 円
- ・学校環境衛生検査の実施（簡易専用水道検査） 79,200 円

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図られた。

3 中学校費 2 教育振興費

〔担当：学務課〕 P. 409

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 16,887,454 円 (15,122,862 円)

〔国・県 602,000 円 その他 8,899,000 円 一財 7,386,454 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：理科教育設備整備費等補助金 602,000 円〕

〔寄附金：教育費寄附金 150,000 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 8,749,000 円〕

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

- ・各学校に彫刻刀を配置した。469,260 円
- ・生徒用教材、図書及び理科教材を整備した。

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図書	合計
R6	5,520,939	1,626,187	7,324,560	14,471,686
R5	4,402,972	1,547,064	7,307,677	13,257,713

○ 効果

各教科の指導を進める上で不可欠な生徒用教材、図書及び理科教材を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

また、各学校に彫刻刀を配置することで、保護者の負担軽減が図られた。

〔担当：学務課〕 P. 409

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 35,877,742 円 (40,847,843 円)

〔国・県 2,281,000 円 一財 33,596,742 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：要保護生徒就学奨励費補助金 91,000 円〕

〔国補：特別支援教育就学奨励費補助金 2,190,000 円〕

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

- ・要保護、準要保護生徒就学援助者数（在校生）

区分	要保護数	準要保護数	合計
R6	16 人	250 人	266 人
R5	17 人	286 人	303 人

- ・入学準備金支給者数

区分	申請者数	支給者数
R6	80 人	80 人

R5	82 人	79 人
----	------	------

・特別支援教育就学奨励者数

区分	在籍者数	該当者数
R6	115 人	84 人
R5	120 人	83 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

〔担当：指導課〕 P. 409

2401 中学校部活動指導員配置事業に要する経費 2,834,499 円 (2,932,803 円)

〔国・県 1,882,000 円 その他 4,189 円 一財 948,310 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：中学校部活動指導員配置事業費補助金 941,000 円〕

〔県補：中学校部活動指導員配置事業費補助金 941,000 円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 4,189 円〕

○ 目的

専門的技術の高い外部指導者を任用し、持続可能な部活動の円滑な運営と生徒の競技力向上を目指す。

○ 内容

市内 6 中学校に 11 人の部活動指導員を配置し、生徒が専門的な技術の指導を受ける機会を確保した。

・中学校部活動指導員報酬	2,628,452 円
・費用弁償	196,047 円

○ 効果

外部指導者の専門的な技術指導や助言を受けることにより、生徒の競技に対する意欲や競技力が向上した。また、競技に対して経験が豊富なことから、安全面の指導を的確に行うことができた。

〔担当：指導課〕 P. 409

2901 中学校特別活動助成に要する経費 21,635,239 円 (18,694,404 円)

〔その他 13,310,000 円 一財 8,325,239 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 13,310,000 円〕

○ 目的

音楽発表、体育大会等を通して生徒の音楽やスポーツへの活動意欲を高める。

○ 内容

・音楽コンクール参加負担金	632,800 円
・中学校体育連盟補助金（総体等運営経費）	494,000 円
・市内体育大会補助金（新人体育大会バス代半額補助）	4,818,665 円
・関東大会補助金（大会参加費・交通費・宿泊費補助）	434,790 円
・全国大会補助金（大会参加費・交通費・宿泊費補助）	111,000 円

・大会派遣用自動車借上料・楽器運搬費 15,143,984円

○ 効果

音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心が高まり、活動意欲の向上が図られた。

3 中学校費 3 学校建設費

〔担当：教育総務課〕 P.411

2001 中学校施設整備に要する経費 12,491,030円 (3,396,115円)

〔地方債 11,600,000円 一財 891,030円〕

＊ 特財内訳

〔市債：緊急防災・減災事業債 11,631,000円×100%≒11,600,000円〕

○ 目的

猛暑による生徒の熱中症リスク低減及び避難所開設時の居住環境整備を目的として、中学校体育館・武道場空調設備設置工事に伴う実施設計を行い、令和7年度着工に向けて準備を進める。

また、各中学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

・空調設備設置工事实施設計業務委託料	11,630,520円
・施設管理営繕工事	620,510円
・消耗品費	240,000円

○ 効果

中学校体育館・武道場空調設備設置工事に伴う実施設計を行い、令和7年度に速やかに着工できる準備が整った。

また、各中学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図ることができた。

〔担当：教育総務課〕 P.411

2104 中学校建設事業に要する経費（永山中学校） 11,385,000円（0円）

〔地方債 8,200,000円 その他 2,767,000円 一財 418,000円〕

＊ 特財内訳

〔市債：中学校施設整備事業債 10,967,000円×75%≒8,200,000円〕

〔繰入金：学校施設整備基金繰入金 2,767,000円〕

○ 目的

永山中学校は生徒数増加により普通教室の不足が見込まれることから、教室数を確保するための改修工事等に伴う実施設計を行い、令和7年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

・校舎内部改修工事实施設計業務委託料	10,967,000円
・電波障害事前調査委託料	418,000円

○ 効果

永山中学校の普通教室数を確保するための改修工事等に伴う実施設計を行い、令和7年度の工事が速やかに着工できる準備が整った。

〔担当：教育総務課〕 P.411

2107 中学校建設事業に要する経費（藤代南中学校） 143,935,000 円（3,591,500 円）
〈143,935,000 円〉※〈 〉は、うち5年度繰越分

〔国・県〈52,744,000 円〉 地方債〈91,100,000 円〉 その他〈91,000 円〉〕

＊ 特財内訳

〔国補：学校施設環境改善交付金〈52,744,000 円〉〕

〔市債：中学校施設整備事業債〈38,447,000 円×100%≒38,400,000 円〉〕

〔市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債

〈(105,488,000 円－52,744,000 円)×100%≒52,700,000 円〉〕

〔繰越金：前年度繰越金〈91,000 円〉〕

○ 目的

藤代南中学校校舎へのエレベーター設置等を含めたバリアフリー改修工事を行い、生徒等が支障なく学校生活を送れるようにする。

○ 内容

・バリアフリー改修工事監理業務委託料 〈2,420,000 円〉

・バリアフリー改修工事 〈141,515,000 円〉

○ 効果

校舎へのエレベーター設置等を含めたバリアフリー改修工事を行うことにより、生徒等が支障なく学校生活を送ることができるようになり、さらなる教育環境の充実が図られた。

3 中学校費 4 学校給食費

〔担当：保健給食課〕 P.413

2001 給食運営に要する経費 180,706,194 円（169,709,183 円）

〔その他 87,168,644 円 一財 93,537,550 円〕

＊ 特財内訳

〔諸収入：中学校給食代自校分 87,146,685 円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 21,959 円〕

○ 目的

生徒に安全な食材による給食を提供することで、望ましい食習慣の形成を図るとともに、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

・賄材料費 94,143,836 円

・委託料 (単位：円)

項目	内容	金額
給食室病虫害防除委託料	取手第二中学校病虫害発生に伴う 応急防除作業	66,000
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃（4校）	422,000
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託（4校）	70,051,520
学校給食室施設管理業務委託料	学校給食室施設（センター受配校配 膳室含む）の総合管理委託（6校） ○小荷物専用昇降機保守点検	4,725,290

	○給食室用換気設備清掃 ○病虫害防除 ○給食室空調設備保守点検 ○調理器具・設備等の簡易修繕ほか	
--	---	--

○ 効果

各種設備等の清掃や保守点検等を総合管理委託することにより、迅速に適正な施設運営を図ることができた。また、地産地消食材を使用した献立や SDGs 献立による給食を提供し、生徒に給食を通して食への関心を深めることができた。

〔担当：保健給食課〕 P.415

2003 物価高騰に伴う給食費負担軽減事業に関する経費 14,141,000 円
(12,402,000 円)

〈14,141,000 円〉※ 〈 〉は、うち5年度繰越分

〔国・県〈11,275,000 円〉 その他〈2,866,000 円〉〕

* 特財内訳

〔国補：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金〈11,275,000 円〉〕

〔繰越金：前年度繰越金〈2,866,000 円〉〕

○ 目的

食材費が高騰する中、保護者に負担増を求めず現在の栄養のバランスや質、量を保った給食を提供する。

○ 内容

・賄材料費 14,141,000 円

○ 効果

食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持し、学校給食を提供することができた。

〔担当：保健給食課〕 P.415

2101 給食施設整備に要する経費 4,568,821 円 (5,031,183 円)

〔その他 2,290,000 円 一財 2,278,821 円〕

* 特財内訳

〔繰入金：学校施設整備基金繰入金 2,290,000 円〕

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

・修繕料（施設や給食室内機器等の修繕）	3,145,971 円
・工事請負費（取手第二中学校給食室照明改修）	1,298,000 円
・備品購入費（永山中学校配膳台）	124,850 円

○ 効果

給食室・配膳室内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

〔担当：保健給食課〕 P.419

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 652,342 円 (654,902 円)

〔その他 2,916 円 一財 649,426 円〕

＊ 特財内訳

〔負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 2,916 円〕

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断を実施し、園児の健康の保持増進を図る。

○ 内容

・園医及び園歯科医、園薬剤師の報酬 570,000 円

区分	園医	園歯科医	園薬剤師
人数	1 名	1 名	1 名

・幼児・教職員集団検診委託料 5,610 円

区分	腎臓検診
R6	17 人
R5	18 人

○ 効果

園児の健康の保持増進が図られた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

〔担当：生涯学習課〕 P.423

2201 生涯学習推進に要する経費 2,246,065 円 (4,836,660 円)

〔国・県 67,000 円 その他 181,800 円 一財 1,997,265 円〕

＊ 特財内訳

〔県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金 67,000 円〕

〔諸収入：市民大学講座受講料 181,800 円〕

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、多様な分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を目指す。また、家庭教育学級を設置することにより、家庭の教育力向上を図る。

○ 内容

(1) 出前講座

市民の「知りたい・聞きたい・学びたい」という知的探求心に応えるため、とりで学遊プラザリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き、講座を実施した。

派遣分野	R6		R5	
	件数	受講者決定数	件数	受講者決定数
リーダーバンク編	6	95 人	7	169 人
行政編	54	1,481 人	47	1,260 人
合計	60	1,576 人	54	1,429 人

(2) 市民大学

・市民大学講座

市民が誰でも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、各分野の専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名／講師名	開催日	受講 決定者数
「わかりやすい源氏物語」 ～宇治十帖（愛と道心のはざまに）～ 講師 聖徳大学オープンアカデミー講師 赤塚 雅己 氏	8月20日（火） ～ 9月6日（金） （4回講座）	57人
『目で見える取手の歩み』講座（その3） 講師 埋蔵文化財センター職員	10月16日（水） ～ 11月15日（金） （3回講座）	93人
「世界遺産への旅」（安心の海外旅行） 講師 元東急観光グアム駐在所長 京免 宣昭 氏	2月12日（水） ～ 3月21日（金） （5回講座）	19人

・東京大学 EMP 特別講座

東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム（東大 EMP）の協力のもと、東京大学で知の最先端の研究を行っている教授陣による講座を開講した。

講座名／講師名	開催日	受講 決定者数
建築のデザイン 講師 東京大学生産技術研究所 准教授 川添 義行 氏	7月31日（水）	288人
宇宙 138 億年解説 講師 東京大学大学院理学系研究科 教授 吉田 直紀 氏	8月26日（月）	419人
メタバース思考 講師 東京大学総長特任補佐・先端科学技術 研究センター 副所長 稲見 昌彦 氏	10月31日（木）	292人
動物の発生の不思議を探る 講師 東京大学名誉教授・ 産業技術総合研究所名誉フェロー 浅島 誠 氏	12月23日（月）	328人
取手から宇宙の果てへ、宇宙の姿を俯瞰する 講師 東京大学 EMP 特任准教授 高梨 直紘 氏	12月25日（水）	406人
日本の近代医学史から見た科学思想 講師 東京大学名誉教授・自治医科大学学長・ 宮内庁皇室医務主管 永井 良三 氏	2月1日（土）	257人

・市民大学特別講座

講座名／講師名	開催日	受講 決定者数
プログラミング体験講座 講師 プラチナマイスター（プラチナ未来スクール）、大学生スタッフ	3月11日（火）、 3月18日（火）	57人
プログラミング講座 講師 プラチナマイスター（プラチナ未来スクール）、大学生スタッフ	4月16日（火）～ 3月11日（火） （年30回）	19人

(3) 家庭教育学級

市立幼稚園・小中学校に通う児童生徒の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として、社会教育指導員の指導により家庭教育学級全体研修会を実施した。（参加者数 61 人）

○ 効果

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

市民大学講座では、市民が関心を持っている分野について、専門講師陣が講義を行うことで、専門的な知識を習得する機会を提供することができた。

家庭教育学級全体研修会では、「思春期の子どもとの関わり方」と「音楽とわたしと子育て」をテーマにした研修会をそれぞれ開催し、家庭での教育力の向上を図った。

【担当：生涯学習課】 P. 425

2401 コミュニティ・スクール事業に要する経費 5,118,522 円

〔国・県 1,395,000 円 一財 3,723,522 円〕

＊ 特財内訳

〔県補：地域の教育支援体制等構築事業費補助金 1,395,000 円〕

○ 目的

学校運営協議会の設置により各学校がコミュニティ・スクールとなり、地域と学校が一体となって、子どもを育む環境を構築することを目的とする。

○ 内容

学校運営協議会を各学校に設置し、学校と地域住民が、学校の基本方針や教育活動などについて協議・連携することで、児童生徒のより良い環境づくりに対する取り組みを推進した。令和5年度までに市内7校に設置し、令和6年度は残りの13校に学校運営協議会を設置したことで、市内全公立小中学校がコミュニティ・スクールとなった。

また、コミュニティ・スクール支援のため、文部科学省CSマイスターの安齋宏之氏を講師として招き、学校関係者、地域住民、保護者などを対象に研修会を開催した。

・令和6年度市主催研修会

研修会名	日付	会場	内容
第1回 学校運営協議会一括研修会 （協議会委員向けに実施）	4月24日（水） 13：30～15：30	福祉交流センター 多目的ホール	コミュニティ・スクールの概要について
令和6年度学校運営協議会 公民館長研修会	5月14日（火） 10：30～12：00	取手市役所 藤代庁舎	学校運営協議会と地域との連携について

(公民館長向けに実施)		大会議室	
令和6年度学校運営協議会 設置校長研修会 (学校長向けに実施)	5月14日(火) 13:30~15:30	取手市役所 藤代庁舎 大会議室	コミュニティ・スクールの 説明
第2回 学校運営協議会一括研修会 (協議会委員向けに実施)	6月10日(月) 10:00~12:00	福祉交流センター 多目的ホール	協議会の進め方・熟議に 関する研修
第3回 学校運営協議会一括研修会 (協議会委員向けに実施)	9月17日(火) 14:00~16:00	福祉会館 講座室A・B	学校評価に関する研修
市政協力員連絡協議会研修会 (市政協力員向けに実施)	9月27日(金) 10:00~11:30	福祉交流センター 多目的ホール	コミュニティ・スクールに ついて
第4回 学校運営協議会一括研修会 (協議会委員向けに実施)	11月19日(火) 14:00~16:00	福祉会館 講座室A・B	学校評価と学校の基本方針 の承認について

・各校の取り組み

令和6年度は、各実施校で4~6回程度学校運営協議会を開催し、協議を重ねた結果、保護者や地域住民による子どもたちのよりよい成長を支えるための取り組みが実施された。

○ 効果

市内全公立小中学校がコミュニティ・スクールとなったことで、学校と地域社会が密接に連携し、教育活動の充実を図ることが可能となった。

【担当：文化芸術課】 P.425

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 4,562,679円(4,429,125円)

[その他 2,513,529円 一財 2,049,150円]

＊ 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,250,000円]

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 261,000円]

[諸収入：損害賠償保険金 2,529円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を支援するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第49回 取手美術 作家展	6/15~6/25 (11日間)	39名の郷土作家による作品展。小中学校ギャラリーツアーも開催。 会場：とりでアートギャラリー 委託先：取手美術作家展 委託料：900,000円	1,953人

第 55 回 取手市民 美術展	10/18～12/8 (うち 30 日間)	市民の作品展。日本画、洋画、彫刻・ その他立体の部 71 点、写真、書、工 芸、デザインの部 82 点 (招待作品を 含む)、小中学生の部 1,220 点。 会場：とりでアートギャラリー 審査謝礼：165,000 円	6,348 人
取手市文化祭	11/2～11/4 (3 日間)	伎芸 (ぎげい) 発表と作品展を開催。 会場：市民会館・福祉会館 委託先：取手市文化連盟 委託料：1,000,000 円	4,185 人 (参加者 を含む)
取手市藤代 文化祭	10/13～11/10 (うち 7 日間)	作品展、体験教室、舞台発表、囲碁・ 将棋大会、茶会を開催。 会場：藤代公民館 委託先：取手市藤代文化協会 委託料：600,000 円	2,081 人 (参加者 を含む)
とりで スク ール・アート フェスティバ ル	1/16～1/20 (5 日間)	市内にある全日制高等学校全 7 校の 芸術教育の作品や演奏の発表。 会場：取手ウェルネスプラザ、とり でアートギャラリー 委託先：とりで スクール・アート フェスティバル実行委員会 委託料：261,000 円	1,010 人 (参加者 を含む)

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額
よいなかまの会	36,000 円
取手少年少女合唱団	80,000 円
取手市文化連盟	288,000 円
取手市藤代文化協会	210,000 円
国際音楽の日コンサート	200,000 円

○ 効果

市民の文化活動及び芸術活動を支援し、活性化を図り市民文化の向上と発展に寄与した。

〔担当：文化芸術課〕 P.427

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 136,000,213 円 (98,197,615 円)

〔地方債 14,900,000 円 その他 22,910,000 円 一財 98,190,213 円〕

* 特財内訳

〔市債：市民会館施設整備事業債 19,910,000 円×75%≒14,900,000 円〕

〔繰入金：公共施設整備基金繰入金 5,000,000 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 17,910,000 円〕

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1) 委託料

平成 18 年度から市民会館・福社会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：公益財団法人取手市文化事業団

指定管理委託料：96,002,000 円

年度	施設名	使用件数	入場者数 利用者数	稼働率
R6	市民会館	218 件	44,723 人	71.1%
	福社会館	8,609 件	125,639 人	100%
R5	市民会館	212 件	50,237 人	64.4%
	福社会館	8,242 件	118,206 人	100%

(2) 工事請負費：19,910,000 円

市民会館の舞台吊物装置の、不具合を解消し安全かつ円滑に運用するために改修を行った。

(3) 備品購入費：19,559,100 円

老朽化により大ホールでの使用限界を迎えた既存ピアノの置き換えを行った。

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し、文化芸術の振興に寄与した。

〔担当：文化芸術課〕 P.427

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 6,665,117 円 (6,519,772 円)

〔その他 4,830,000 円 一財 1,835,117 円〕

* 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,830,000 円〕

〔諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 2,000,000 円〕

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を生かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の推進を図る。

○ 内容

(1) 東京芸術大学 取手市長賞

市長賞賞賜金：2,000,000 円 (500,000 円×4 人)

第 73 回東京芸術大学卒業・修了作品展における優秀美術作品 2 点 (日本画・工芸)、及び音楽分野の優秀者 2 人 (オペラ (ソプラノ)・器楽 (ピアノ)) に市長賞を授与した。

種類	作品名	作者／受賞者
日本画	忘れないように	中原玲奈
工芸 (鍛金)	幸せになりたい	土井源
オペラ (ソプラノ)		北見エリナ
器楽 (ピアノ)		小嶋早恵

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

東京芸術大学の学生等が、市立小中学校で美術又は音楽の指導を行う事業。

小学校 14 校で美術指導を、中学校 6 校で吹奏学部への音楽指導を実施した。

委託料：小学校 (美術) 指導 2,402,400 円 (派遣人数延べ 140 人)

委託料：中学校 (音楽) 指導 1,647,360 円 (派遣人数延べ 88 人)

(3) 東京芸術大学との連携によるコンサート

出演者謝礼：304,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
7/6	藤代公民館 講堂	東京芸術大学学生による木管五重奏	5 人	250 人
12/7	市民会館 大ホール	令和 5 年度取手市長 賞受賞者(作曲・箏曲) によるコンサート	2 人	300 人
2/20	取手ウェルネ スプラザ 多目的ホール	(東京芸術大学) 妊産 婦向けコンサート弦 楽四重奏	4 人	69 人

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近で質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

〔担当：文化芸術課〕 P. 429

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 34,683,122 円 (34,011,579 円)

〔国・県 12,433,000 円 その他 16,823,895 円 一財 5,426,227 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：文化芸術振興費補助金 12,433,000 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,670,000 円〕

〔諸収入：取手アートプロジェクト貸付金元利収入 1,350,000 円〕

〔諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 131,000 円〕

〔諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,672,895 円〕

〔諸収入：コミュニティ助成事業助成金（地域の芸術環境づくり） 5,000,000 円〕

○ 目的

東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を生かして東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用し、他市町村にはない文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 取手音楽の日「取手ジャズフェスティバル」

○ 内容

委託料：3,200,000 円（公益財団法人取手市文化事業団）

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
5/3、4	市民会館屋外 特設会場	アマチュア無料公演	14 組	3,346 人
2/23	市民会館 大ホール	プロ有料公演	1 組	982 人

○ 効果

優れた演奏を鑑賞しに市内外から多くの人が来場し、文化・芸術によるまちづくりの推進が図られた。

(2) 取手の芸術活動連携サポート

○ 内容

委託料：770,000 円（NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス）

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、アーティストの活動を支援する

事業や、市民がアートを身近に感じられるようになる事業を展開した。

①「取手におけるアートネットワークの形成をめざしたアイディア会議」

取手市で創作活動を行うアーティスト同士とアート・コミュニケーター（トリバア）との意見交換の会を開催した。（取手市在住アーティスト 16 名、アート・コミュニケーター（トリバア） 6 名参加）

②「対話型鑑賞ツアー」

言語化能力や論理的思考力の向上を目指し、アート作品を複数の人たちと対話しながら鑑賞するプログラムを学校と連携して実施。（小学校 4 校、中学校 1 校で計 5 校実施 計 294 人参加）

○ 効果

対話型鑑賞ツアーにより、参加した児童生徒はたいけん美じゅつ場 VIVA でアートを身近に感じる体験ができ、学校だけでは実現の難しい学びから、児童生徒の思考力、創造力、言語化力、コミュニケーション力の向上につながった。

（3）井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

賃借料：5,753,400 円

東京芸術大学と市が連携し、空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟を UR 都市機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供した。

- ・UR 都市機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして提供。
- ・7 戸のうち 1 戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担。
- ・1 戸につき 2 人以上、利用期間 2 年。
- ・地域との交流及びオープンスタジオ開催を条件としており、令和 6 年度は 11 月 9 日にオープンスタジオが開催され、スタジオ公開、作品展示、ワークショップ、青空市でにぎわった。
- ・賃借人数

スタジオ名	101（管理運営）	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2 人	4 人	4 人	5 人	5 人	3 人	5 人

○ 効果

延べ 26 人のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。空き店舗を利用して地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

（4）取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金：3,240,000 円（取手アートプロジェクト事業運営補助金）

5,000,000 円（コミュニティ助成事業助成金（地域の芸術環境づくり））

12,433,000 円（文化芸術振興費補助金（文化芸術創造拠点形成事業））

取手アートプロジェクト（TAP）は、平成 11 年度から市民・東京芸術大学・取手市の 3 者が連携協力して、地域の特色を生かした芸術活動を行っているプロジェクトであり、上記補助金を充て以下の事業を実施した。

令和 6 年度事業	取手アートプロジェクトの事業主旨 芸術的活動を社会的課題に接続させることによるウェルビーイング
-----------	--

	グの実現
開催期間	通年
主な事業内容	1. 地域の文化支援再興から「創造的な生」を支える活動拠点形成 ①高須で空あそび 大空凧（だこ）プロジェクト 過去に芸術家と一緒に作成した12畳凧、6畳凧及びアーチカイト（連凧）をあげることに挑戦し、微風のなか12畳凧と3組の連凧をあげた。 ②新・小文間物語ーそれやあれやこれやと盆踊り 小文間地域に様々な形で関わる人たちからそれぞれの生活史を集め、新小文間物語として東京芸大取手校地で上演した。 2. 第1次産業の生きる知恵と身体性から学ぶ次世代活動支援 小文間地域一帯を野外活動型の共創型ランドスケープ・アートプロジェクト「プレイグラウンド」として、芸術、林業、農業、ヤギの飼育などの複数の活動を掛け合わせることで地域の文化活動を活性化し、継続的な創造拠点づくりを拡充した。 3. 郊外団地の創造型居住を実現する公民学連携ケーススタディ 井野団地における空き家活用として、団地の5階フロアを創造的活動を行う入居者のレジデンスとして実験プログラムを実施した。 4. 郊外の社会史・アートプロジェクト・文化史をめぐる市民参加型公演 取手アートプロジェクト25周年企画として、これまで取手アートプロジェクトとそれに関わってきた人たちの語りをもとに作品を作成し、計7回の公演を行った。

○ 効果

市民が市内各所で特色のある活動を通じて、芸術に触れられる機会を提供した。

(5) JOBAN アートライン協議会

○ 内容

負担金：400,000 円

JR 常磐線沿線の4区4市（台東区・荒川区・足立区・葛飾区・松戸市・柏市・我孫子市・取手市）と、東京芸術大学、そして JR 東日本東京支社（現・首都圏本部）が「アート」をキーワードとした協議会を構成。常磐線沿線のイメージアップや活性化を図る活動を通じて、それぞれの「街」や「人」をつなげていく取組をしている。

「ポストカードアートコンテスト」（R4 年開始）、「芸大生ライブペイント&ミュージック in アートアンブレラ」（R4 から音楽演奏を追加）を実施するとともに、各種プロモーション物品（色鉛筆、芸大生アートポストカード、PR 冊子）の制作を行った。

○ 効果

JR 常磐線沿線の住人に限らず、JOBAN アートライン協議会の認知度向上に寄与し、常磐線沿線の多種多様なアート資源の PR につながった。

【担当：文化芸術課】 P. 431

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 14,725,228 円（13,409,234 円）

〔その他 8,791,650 円 一財 5,933,578 円〕

＊ 特財内訳

〔使用料：アートギャラリー使用料 562,000 円〕

〔使用料：市民ギャラリー使用料 82,650 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,537,000 円〕

〔諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 5,610,000 円〕

○ 目的

市民の芸術・文化交流の場であるアートギャラリーを管理・運営し、芸術・文化の振興に寄与する。

○ 内容

(1) ギャラリーの管理運営

とりでアートギャラリーは、取手駅ビル内にあるたいけん美じゅつ場 VIVA の一角に設置している。同施設の開閉、展示補助、市主催事業の受付等を委託により運営した。

・アートギャラリー管理委託料：1,870,913 円（県・市シルバー人材センター）

・施設賃借料：9,685,308 円（株式会社アトレ）

(2) 市主催事業の開催

事業名	開催日	会場	内容	入場者数
にこにこ元気 なとりでっ 子！！作品展	8/9～ 8/20 (うち 11 日間)	とりでア ートギャ ラリー	市内公立、私立保育所（園）・幼稚園 19 か所に通う 4 歳児、5 歳児の絵画と立体工作物を合同で展示。併せて 4 か所の地域子育て支援センターの取組を紹介した。	1,888 人
取手郷土作家 日本画部門展 とりでの今と 先駆者たち	1/25～ 2/4 (11 日間)	とりでア ートギャ ラリー	部門ごとに市所蔵品・市内作家の作品を広く集め展示する郷土作家部門展の第 4 回として、日本画部門の展覧会を、寺田弘奴氏生誕 111 年と田中路人氏生誕 100 年の記念を兼ねて開催。展示数：54 点	1,087 人

※その他、ギャラリーの利用のない期間を活用して、東京芸術大学取手市長賞の作品を随時展示した。

(3) とりでアートギャラリー、市民ギャラリーの貸出し

市民の発表の場として、とりでアートギャラリー、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸出しを行った。

利用件数

ギャラリー名	R6	R5
とりでアートギャラリー	17 件	23 件
取手駅市民ギャラリー	40 件	42 件
藤代駅市民ギャラリー	24 件	28 件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

〔担当：子ども青少年課〕 P.433

3801 放課後児童対策事業に要する経費 196,983,405 円 (372,668,930 円)

〔国・県 83,351,000 円 その他 43,010,870 円 一財 70,621,535 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：子ども・子育て支援交付金 38,636,000 円〕

〔県補：放課後児童対策事業補助金 6,079,000 円〕

〔県補：子ども・子育て支援交付金 38,636,000 円〕

〔負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 40,561,450 円〕

〔寄附金：教育費寄附金 100,000 円〕

〔繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,250,000 円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 99,420 円〕

○ 目的

市立小学校に通う全児童を対象とし、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、児童の健全育成とウェルビーイングの向上を図る。

○ 内容

市内小学校全児童を対象に放課後や夏休み等の長期休業中における安全で安心な子どもの活動拠点を開設する。遊びや体験活動を通じて児童の健全育成と子育て支援の充実を図っている。令和3年10月からは、取手東小・高井小・藤代小の3クラブの運営を民間委託するとともに、土曜日開所を同3クラブに集約することで、支援員等の人材不足への対応と負担軽減につなげている。

令和6年度は、設置から16年を経過し各種設備が老朽化している藤代小学校放課後子どもクラブ室において、利用児童の生活環境改善を図るために空調設備の改修及び室内照明のLED化並びに静養室、トイレ、パーティション設置等の室内改修工事に向けた実施設計を行った。

また、同じく令和6年度から、各クラブに主任支援員を順次配置し、定期的な課題共有や研修機会を設けること等を通して、組織体制の強化とクラブ運営環境の平準化を図った。

- ・放課後児童支援員報酬 102,160,890 円
- ・放課後子どもクラブ運営業務委託料 71,716,498 円
- ・藤代小放課後子どもクラブ室改修工事实施設計業務委託料 2,365,000 円

放課後子どもクラブ登録児童数（通常利用登録者）

令和7年3月31日現在（単位：人）

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取手小	28	39	32	27	25	14	165
白山小	40	41	33	20	12	2	148
取手東小	44	46	44	31	13	8	186
寺原小	30	33	32	19	11	10	135
永山小	20	27	15	22	13	3	100
取手西小	27	34	30	17	10	4	122
戸頭小	35	34	31	20	7	4	131
高井小	102	74	51	47	24	13	311

山王小	15	14	10	11	4	2	56
六郷小	6	6	8	6	7	7	40
藤代小	38	40	28	18	25	4	153
宮和田小	25	26	29	18	5	12	115
久賀小	18	29	14	20	9	3	93
桜が丘小	29	26	16	20	10	6	107
合 計	457	469	373	296	175	92	1,862

放課後子どもクラブ登録児童数（土曜日登録者） 令和7年3月31日現在（単位：人）

	取手東	高井	藤代	合 計
取手小	16	0	0	16
白山小	8	1	1	10
取手東小	46	0	0	46
寺原小	3	8	0	11
永山小	0	8	0	8
取手西小	5	15	0	20
戸頭小	0	14	0	14
高井小	0	73	0	73
山王小	0	3	0	3
六郷小	1	0	0	1
藤代小	0	0	43	43
宮和田小	0	0	14	14
久賀小	0	0	3	3
桜が丘小	1	0	6	7
合 計	80	122	67	269

※土曜日は取手東小、高井小、藤代小の3クラブで開所。

○ 効果

市内全公立小学校内に設けた14クラブの運営を通して、児童の健全な育成と子育て支援の充実を図ることができた。

また、土曜日、夏休み期間等の一日開所日における開所時間の繰上げ等の取組により、保護者の就労支援について一層の拡充が図れた。

【担当：生涯学習課】 P.435

4301 訪問型家庭教育支援事業に要する経費 461,042 円 (517,713 円)

[国・県 307,000 円 一財 154,042 円]

* 特財内訳

[県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金 307,000 円]

○ 目的

地域の子どもは地域社会全体で育てるという考え方に立ち、地域の人材を活用した家庭教育支援チームが家庭に支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支える。

○ 内容

- (1) 支援方法 訪問型家庭教育支援チームによる情報提供
- (2) 実施対象 市校長会から推薦された小学校7校（寺原小、永山小、取手西小、

戸頭小、高井小、山王小、宮和田小)の小学1年生児童を持つ保護者(350名)

- (3) 実施内容 ①保護者からの相談への対応
②保護者に対する情報提供

(4) 実施結果

学校名	対象人数	面談者数	面談割合
寺原小学校	46名	45名	97.8%
永山小学校	35名	30名	85.7%
取手西小学校	38名	37名	97.5%
戸頭小学校	51名	42名	82.4%
高井小学校	129名	116名	89.9%
山王小学校	17名	16名	94.1%
宮和田小学校	34名	33名	97.1%
合計	350名	319名	91.1%

※転入生に対しては、対象者全員へ家庭訪問についての希望調査を実施したが、希望者はなし。

○ 効果

対象校7校で支援員による個別家庭訪問を実施し、家庭に家庭教育の情報を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えることができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：生涯学習課] P.437

0501 公民館事務に要する経費 33,966,954円(46,263,182円)

[その他 887,130円 一財 33,079,824円]

* 特財内訳

[手数料：コピー手数料 135,290円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 640,000円]

[諸収入：印刷機使用料 111,740円]

[諸収入：電話通話料 100円]

○ 目的

地域に即した特色ある公民館の運営と維持管理を行い、市民の文化教養の向上、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

市内の公民館施設の適切な維持管理を行った。主な経費は公民館の光熱水費、備品購入費である。

・光熱水費 23,187,937円(各公民館施設の光熱水費)

・備品購入費 1,635,590円

(卓球台3台、ステージ昇降用手すり付きステップ1台、
会議用テーブル8台など)

○ 効果

公民館の維持管理を適切に行い、利用環境の充実と利用者の利便性の向上を図った。

〔担当：生涯学習課〕 P.439

2101 公民館活動に要する経費 1,395,482 円 (1,438,707 円)

〔一財 1,395,482 円〕

○ 目的

市内には、学習活動や地域づくりの中心的役割を担う公民館が 14 館あり、地域に即した生涯学習施設として活用されている。それぞれの地域ニーズに合わせた魅力ある事業を展開し、地域の生涯学習の拠点として、より一層の充実を図る。

○ 内容

市内各地域の公民館において、幅広い年齢層を対象とした講座や講演会等を開催することで地域の人たちが身近に参加でき、学べる機会を提供した。

・報償費 1,009,712 円 (各公民館講師謝礼等)

＜主な事業＞

事業名	期間	回数 (回)	受講者数 (人)	事業内容及び結果
女性学級 (8 学級)	通年	各学級 10～12	138	様々な出会いを大切に、視野を広げ、楽しく学習しながら豊かな人間性を培い、学級生相互の交流を深めた。
高齢者学級 (4 学級)	通年	各学級 11～13	241	高齢者が心豊かに生きられるように、健康・趣味・体験活動等を通して、社会情勢に必要な物の見方や考え方、生きがいを見いだした。
ペタンク大会	5 月、9 月	2	109	スポーツ (ペタンク) を通じて、世代間相互の交流を図った。
サマースクール 「ビーズアクセサリー」講座	7 月	1	24	夏休みに小学生を対象にしたビーズアクセサリー講座を開催し、学習の場を提供した。
夏まつり	7～8 月	4	1,579	4 公民館 (高須、相馬、相馬南、久賀) で夏まつりを開催し、地域住民の交流を深めた。
凧づくり教室	8～11 月	9	175	地元の藁や植物を使い和紙を漉き凧を作り、創作活動を楽しんだ。
永山・戸頭地域親善 ゲートボール大会	10 月	1	22	永山・戸頭地域のゲートボール愛好者の親善、健康増進、技術の向上を目的に大会を開催した。
健康教室	10～3 月	5	96	高齢者の健康づくりと運動をテーマに講座を実施した。
しめ飾り作り講座	12 月	3	33	伝統的なしめ飾りやアーティフィシャルフラワー (造花) を使ったしめ飾りの作り方を学んだ。
公民館まつり	2～3 月	12	10,576	公民館利用団体が学習成果を展示・発表、地域住民の方と交流を図った。

・各公民館利用状況

公 民 館 名	年度	利用件数（件）	延べ利用者数（人）
中 央 公 民 館	R6	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	R5		
小 文 間 公 民 館	R6	1,128	8,198
	R5	1,066	7,760
永 山 公 民 館	R6	2,650	29,560
	R5	2,722	29,439
寺 原 公 民 館	R6	2,010	25,222
	R5	1,954	23,652
井 野 公 民 館	R6	3,531	52,820
	R5	3,582	58,888
戸 頭 公 民 館	R6	3,671	59,470
	R5	3,598	52,306
白 山 公 民 館	R6	2,201	32,560
	R5	2,219	32,902
藤 代 公 民 館	R6	2,906	34,502
	R5	3,180	37,582
山 王 公 民 館	R6	754	6,471
	R5	687	6,238
六 郷 公 民 館	R6	718	8,809
	R5	793	10,281
相 馬 公 民 館	R6	1,093	9,541
	R5	1,120	9,808
相 馬 南 公 民 館	R6	1,330	13,243
	R5	1,429	13,970
高 須 公 民 館	R6	506	6,168
	R5	492	5,433
久 賀 公 民 館	R6	795	7,389
	R5	717	6,963
合 計	R6	23,293	293,953
	R5	23,559	295,222

○ 効果

地域の特色を生かした学級・講座等の事業を開催し、内容の充実を図ったことで、利用者の教養の向上と健康の増進に寄与することができた。

〔担当：生涯学習課〕 P.441

2301 公民館施設整備に要する経費 8,115,965 円（61,270,276 円）

〔その他 4,547,000 円 一財 3,568,965 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：公共施設整備基金繰入金 4,547,000 円〕

○ 目的

公民館施設の適切な整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の破損箇所や異常箇所の修繕及び工事を実施し、施設整備を行った。
また、老朽化した空調設備の改修工事を行い利用環境整備を図るため、令和6年度は工事のための実施設計を行った。

- ・委託料 649,000 円（白山公民館空調設備改修工事実施設計業務）
- ・修繕料 5,022,009 円（各公民館施設の修繕）
- ・工事請負費 1,298,000 円（キュービクルコンデンサー取替工事）

○ 効果

各公民館の老朽化した附帯設備等の修繕を行い、利用者の利便性の維持・向上に寄与した。

5 社会教育費 3 図書館費

〔担当：図書館〕 P.441

2001 図書館管理運営に要する経費 27,890,252 円（24,653,389 円）

〔その他 1,595,000 円 一財 26,295,252 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,595,000 円〕

○ 目的

利用者に安全で快適な環境を提供するため、適切な施設の維持管理を図る。

○ 内容

改修等が必要な箇所について、所要の修繕や改修を行った。

事業名	内容	金額（単位：円）
ふじしろ図書館受変電設備改修工事	受変電設備である高圧気中負荷開閉器と真空遮断器が、設置後 20 年を経過して老朽化が進み、開閉操作に不具合が起こる可能性があるため改修工事を行った。	1,595,000
取手図書館 3 階学習室照明器具修繕	学習室の照明器具を修繕し、利用者に対し、明るく快適な環境を提供した。	99,660
取手図書館正面自動ドア修繕	経年劣化により故障した正面玄関自動ドアを修繕し、利用者の安全性を確保した。	101,200

○ 効果

利用者に安全で快適な環境を提供するため、改修等については緊急性や効果を考慮しながら実施し、諸設備の機能回復及び保全を図ることができた。

〔担当：図書館〕 P.443

2101 図書館活動に要する経費 106,252,490 円（96,761,814 円）

〔その他 4,764,446 円 一財 101,488,044 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 4,210,000 円〕

[手数料：コピー手数料 57,860 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 146,586 円]

[諸収入：ネーミングライツ料 350,000 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応する読書環境の整備及び図書館事業の充実並びに効果的な図書館資料の提供に努める。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・ 学校図書館－市立図書館連携事業（ほんくる）の運用

本の魅力を発信する図書館 Web サービス及び学校図書館と市立図書館とのシステム連携並びに図書配送サービスの運用を行った。

図書館システム賃借料（4～3 月） 33,363,756 円

図書配送業務委託料 6,803,280 円

- ・ 電子図書館システム使用料 4,683,077 円

- ・ 学校との連携、学校図書館への支援

学校司書研修会（3 回）

蔵書点検の指導・実施（20 校）

図書館システム活用・運用についての指導（随時）

学校訪問おはなし会（22 回）

放課後子どもクラブ訪問おはなし会（10 回）

ほんくるレクチャー（20 回）

学校へのリサイクル図書配付（512 冊）

- ・ うちどく（家読）

「スマートウェルネスとりでの推進事業」のうち地域・家族の絆づくりの事業として家庭での読書の普及啓発を図った。

うちどくメール定期便配信（年 6 回）

うちどくおすすめ絵本通信「よもっと」発行（年 4 回）

小学校保護者へ「Home&School」（メール）でうちどく情報配信（年 6 回）

- ・ 子育て支援

ブックスタート事業（年 24 回実施・463 冊配付）

乳幼児・児童向け読み聞かせ

こども発達センターおはなし会（2 回）

子育て支援センター（4 か所）へおすすめ本をセットで貸出し

保育所等へのリサイクル図書配付（420 冊）

- ・ 図書館だより配信（メールマガジン）（12 回）

- ・ 中高生向け本の情報紙「ほんバナ」発行（年 4 回）・学校配付・ホームページ掲載

- ・ 図書館まつり 取手図書館（5/19）・ふじしろ図書館（11/23）

- ・ 特別展示「効き目ほんわか こころのお薬 100 冊 2024」（8/1～9/26）

自殺予防週間に合わせ、いのちやこころについて考えるための図書の展示や情報提供を実施した。

- ・ ネーミングライツによる備品の購入

ふじしろ図書館 AV 機器の購入 474,100 円

- ・取手図書館 45 周年記念事業
記念写真展の開催
小説家・汐見夏衛さん講演会

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6 歳	7～ 12 歳	13～ 15 歳	16～ 18 歳	19～ 22 歳	23～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60 歳 ～	合計
R6	377	4,490	2,357	633	1,396	2,549	3,313	4,600	4,505	11,543	35,763
R5	417	4,613	2,480	1,310	1,549	2,663	3,542	4,911	4,490	11,772	37,747
R4	442	4,700	2,504	920	2,366	3,949	5,181	6,688	5,622	14,599	46,971
R3	469	4,854	2,669	2,446	2,432	3,726	4,991	6,743	5,185	13,911	47,426
R2	516	4,907	2,751	2,040	2,372	3,439	4,819	6,671	4,758	13,300	45,573

(3) 利用状況

- ・入館者数

館名	入館者数 (単位：人)				
	R6	R5	R4	R3	R2
取 手 図 書 館	117,496	118,048	115,020	106,842	100,230
ふ じ し ろ 図 書 館	123,577	125,155	114,932	112,046	105,911
合計	241,073	243,203	229,952	218,888	206,141

- ・館別貸出者数

館名		貸出者数 (単位：人)				
		R6	R5	R4	R3	R2
取 手 図 書 館		53,161	52,724	52,922	54,860	50,310
ふ じ し ろ 図 書 館		47,969	49,381	48,704	50,821	45,585
戸 頭 公 民 館 図 書 室		25,313	25,121	25,032	25,650	23,813
小 文 間 公 民 館 図 書 室		424	418	469	325	286
寺 原 公 民 館 図 書 室		4,680	4,840	4,831	4,887	4,634
永 山 公 民 館 図 書 室		1,554	1,487	1,352	1,433	960
ゆ う あ い プ ラ ザ 図 書 室		2,597	2,863	2,889	3,120	2,658
井 野 公 民 館		2,453	2,507	2,716	2,704	2,464
取 手 駅 前 窓 口		6,802	7,048	7,040	8,418	7,441
山 王 公 民 館		148	148	100	124	137
六 郷 公 民 館		301	303	333	500	420
相 馬 南 公 民 館		1,210	1,142	1,197	1,329	870
学 校 配 送	小学校	1,800	1,871	2,002	2,154	2,105
	中学校	463	390	375	476	465
合計		148,875	150,243	149,962	156,801	142,148

- ・貸出冊数 (個人貸出)

館名		貸出冊数 (単位：冊)				
		R6	R5	R4	R3	R2
取 手 図 書 館		188,407	190,134	195,464	201,263	185,547
ふ じ し ろ 図 書 館		170,498	177,849	181,573	187,053	166,889
戸 頭 公 民 館 図 書 室		78,503	79,306	80,606	80,551	74,126
小 文 間 公 民 館 図 書 室		849	815	934	658	575
寺 原 公 民 館 図 書 室		10,261	10,380	10,531	10,476	10,561

永山公民館図書室		3,615	3,771	3,564	3,877	2,709
ゆうあいプラザ図書室		6,853	7,987	8,005	8,350	7,110
井野公民館		4,479	4,716	5,367	5,281	4,971
取手駅前窓口		13,027	13,658	13,483	16,836	14,917
山王公民館		321	349	187	207	247
六郷公民館		649	605	675	937	822
相馬南公民館		2,306	2,133	2,325	2,788	1,763
学校配送	小学校	4,014	3,118	3,374	4,227	5,338
	中学校	1,154	385	320	781	934
合計		484,936	495,206	506,408	523,285	476,509

・予約提供状況

予約件数（単位：件）	R6	R5	R4	R3	R2
	123,349	122,662	123,623	135,422	126,333

○ 効果

学校図書館と公共図書館連携事業「ほんくる」の利用拡大のため、各小中学校へ出向き、利用方法を案内する「ほんくるレクチャー」を実施したことにより、中学生の貸出冊数の増加が図られた。また、「ほんくる」を基盤としたうちどく（家読）の普及・啓発を図りつつ子どもの読書への関心を高めることができた。

取手市ネーミングライツ事業によりふじしろ図書館の愛称が「常陽建設ふじしろ図書館」に決定し、ネーミングライツ使用料を活用して、開館当初から使用していた DVD 視聴ブースの AV 機器を更新し、利用者の利便性を図ることができた。

市民のよりよい読書環境を整備し、利用者のニーズに対応したサービスを提供することができた。

【担当：図書館】 P. 445

2201 図書館資料購入に要する経費 31,968,638 円（28,207,865 円）

【その他 23,217,443 円 一財 8,751,195 円】

* 特財内訳

【繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 23,110,000 円】

【諸収入：図書弁償金 43,430 円】

【諸収入：広告掲載料 64,013 円】

○ 目的

市民の図書館資料に対する幅広いニーズに応える。

○ 内容

規定の収集方針に基づき図書館資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・令和 6 年度館別購入実績

館名	図書		雑誌	
	購入数 (冊)	購入金額 (円)	購入種類	購入金額 (円)
取手図書館	5,149	11,379,915	62 誌	682,596
ふじしろ図書館	5,256	10,175,317	74 誌	864,916

戸頭公民館図書室	1,740	3,472,986	24 誌	322,437
合計	12,145	25,028,218	128 種類	1,869,949

館名	新聞		AV	
	購入種類	購入金額 (円)	購入数 (点)	購入金額 (円)
取手図書館	14 紙	464,400	58	100,004
ふじしろ図書館	13 紙	534,210	89	501,132
戸頭公民館図書室	10 紙	327,600	28	46,822
合計	19 種類	1,326,210	175	647,958

※新聞の購入種類は同紙名の夕刊も 1 紙とし、合計欄は全館での紙名数を記載
・館別蔵書数（各年度末日現在）

館名	図書（単位：冊）				
	R6	R5	R4	R3	R2
取手図書館	143,382	141,245	139,867	138,203	134,967
ふじしろ図書館	134,168	135,668	137,819	144,232	146,845
戸頭公民館図書室	57,163	57,450	57,585	56,837	54,684
小文間公民館図書室	2,320	2,272	2,361	2,268	2,190
寺原公民館図書室	5,079	4,920	4,840	4,650	4,523
永山公民館図書室	4,730	4,718	4,561	4,303	4,179
ゆうあいプラザ図書室	11,069	10,947	10,327	10,761	10,496
合計	357,911	357,220	357,360	361,254	357,884

館名	雑誌（単位：タイトル数）				
	R6	R5	R4	R3	R2
取手図書館	80	77	78	80	86
ふじしろ図書館	78	80	80	81	86
戸頭公民館図書室	25	24	25	26	27
合計	183	181	183	187	199

館名	AV（単位：点）				
	R6	R5	R4	R3	R2
取手図書館	914	854	903	861	756
ふじしろ図書館	5,992	5,968	5,905	5,771	5,863
戸頭公民館図書室	360	332	285	227	160
合計	7,266	7,154	7,093	6,859	6,779

○ 効果

各館の特長を活かしながら利用者のニーズに合わせた蔵書構成を目指した。また、図書館まで足を運ぶことができない子どもや高齢者でも利用しやすい地域の公民館など、読書施設の蔵書更新を図った。

5 社会教育費 4 文化財保護費

〔担当：生涯学習課〕 P.447

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 11,068,203 円 (8,705,611 円)

[その他 240,000 円 一財 10,828,203 円]

＊ 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000 円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	来場者	内容
R6	週 3 日 (金・土・日)	150 日	2,645 人	・ 修復工事のビデオを随時放送した。 ・ 土間でパネル展を実施した。 ・ 小学校などの団体見学では、職員が説明を行える体制を整えた。
R5		159 日	3,333 人	

(2) 管理・運営経費

・ 一般公開に関する主な経費

内訳	支出額
公開日受付業務委託料	3,061,575 円

・ 維持管理に関する主な経費

内訳	支出額
修繕料（表門袖塀等修理、消火栓設備修繕）	1,336,500 円
庭園管理委託料	1,749,000 円
史跡指定地・駐車場賃借料	3,579,727 円

○ 効果

旧取手宿本陣の一般公開を行うことで、歴史や文化財に対する市民の関心を高めるとともに、見学者の約 6 割を占める市外からの訪問者が取手市の魅力を再発見することに寄与できた。

【担当：生涯学習課】 P.449

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 918,008 円（924,948 円）

[その他 600,000 円 一財 318,008 円]

＊ 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 600,000 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料の収納、整理、研究を実施する。これらの成果を市民に紹介するため、企画展・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心を高めるとともに、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年 度	R6	R5	R4
来館者数	3,052 人	3,481 人	2,763 人

(2) 展示活動

展 示 名	埋蔵文化財センター第 53 回企画展「史実と伝説のはざま」
期 間	7/23～9/29 会期日数 60 日
来館者数 [1 日平均]	1,149 人 [19.2 人]
主 な 経 費	・印刷製本費 418,000 円 (ポスター、解説図録など)
内 容	市内に残る四つの伝説を取り上げ、伝説が生まれ語り継がれてきた背景を紹介した。 (1) 講演会 『将門記』王城の地について 8/24 講師 山路直充氏 参加者 109 名 (2) 歴史講座 「平将門は取手で生まれたか」 9/7 講師 埋蔵文化財センター職員 参加者 124 名

展 示 名	埋蔵文化財センター第 54 回企画展 「近世を掘る―地下からわかる取手宿―」
期 間	2/18～4/20 会期日数 54 日 (3/31 までの会期日数 36 日)
来館者数 [1 日平均]	908 人 [16.8 人] (3/31 まで 549 人 [平均 15.3 人])
主 な 経 費	・印刷製本費 440,000 円 (ポスター、解説図録など)
内 容	平成 24 年と 26 年に茨城県教育財団が実施した取手宿跡の発掘調査を中心に、取手市内で実施した近世の発掘調査成果を紹介した。 (1) 歴史講座 「徳川斉昭・慶喜と取手宿本陣」 3/29 講師 埋蔵文化財センター職員 参加者 47 名 (2) 取手宿街道ツアー 3/8、3/23 講師 埋蔵文化財センター職員 2 回分の参加者延べ 40 名 (3) 県・市指定「旧取手宿本陣染野家住宅」ガイド付き見学会 2/22、2/23、3/8、3/23 講師 埋蔵文化財センター職員 4 回分の参加者延べ 33 名

○ 効果

市民の郷土史、市内文化財への関心を高めるとともに、文化財保護行政に対する理解を深めることに寄与した。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

〔担当：スポーツ振興課〕 P.453

2001 スポーツ団体体育成推進関係経費 9,240,000 円 (9,000,000 円)

〔その他 5,040,000 円 一財 4,200,000 円〕

* 特財内訳

〔繰入金：地域振興基金繰入金 5,040,000 円〕

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
ス ポ ー ツ 協 会	27 部	3,665 人	スポ協親睦会・講演会の開催、視察研修、各種講習会の開催、機関誌の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	10 連盟 34 単位団	指導者 102 人 団 員 968 人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各種講習会・研修会への参加

○ 効果

スポーツ協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。また、スポーツ少年団が青少年のスポーツ指導に加え、認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

〔担当：スポーツ振興課〕 P. 455

2401 中学校部活動地域移行事業に要する経費 7,255,670 円 (2,142,001 円)

〔国・県 4,071,000 円 その他 16,446 円 一財 3,168,224 円〕

* 特財内訳

〔県委：部活動地域移行実証事業再々委託料 4,071,000 円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 16,446 円〕

○ 目的

少子化や教職員の働き方改革が進む中、地域の中学校部活動の維持が難しい状況になってきていることから、地域のスポーツ文化活動を多様かつ持続可能に整備することで、子どもたちの健全育成を図り、学校教育の向上につなげる。

○ 内容

令和 5 年度に、取手市部活動地域移行推進協議会を設置し、国や県が示すガイドラインをもとに、市内中学校の部活動や地域特性に合わせた休日における中学校部活動の段階的な地域移行の推進を図った。令和 6 年度は、野球 2 クラブ、剣道 2 クラブ、女子バレーボール、空手、柔道の各 1 クラブの、5 種目、計 7 クラブに拡大しモデル事業を行った。

・会計年度任用職員報酬（共済費含む）	2,656,632 円
・地域部活動指導員謝礼	3,533,440 円
・中学校部活動地域移行事業推進協議会委員謝礼	114,300 円
・地域クラブで使用する消耗品の購入代	236,500 円
・賠償保険料	110,788 円

○ 効果

休日の中学校部活動を地域のクラブへと移行したことによって、生徒たちがスポーツ

を継続して活動できる環境を確保することができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

〔担当：スポーツ振興課〕 P. 457

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 259,258,552 円
(173,584,274 円)

〔地方債 88,700,000 円 その他 12,480,000 円 一財 158,078,552 円〕

＊ 特財内訳

〔市債：合併特例債 77,880,000 円×95%≒73,900,000 円〕

〔市債：グリーンスポーツセンター整備事業債
19,800,000 円×75%≒14,800,000 円〕

〔繰入金：公共施設整備基金繰入金 11,730,000 円〕

〔諸収入：ネーミングライツ料 750,000 円〕

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行い、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理運営を実施している。

- ・ 指定管理料 136,112,900 円（別途、光熱水費高騰分 13,710,000 円）
- ・ グリーンスポーツセンター指定管理者支援金 6,820,000 円

(1) 利用状況 (単位：人)

施設名	R6	R5	増減
室内プール	124,624	121,992	2,632
遊水プール	12,510	13,403	△893
第一体育室	49,871	46,443	3,428
第二体育室	9,963	9,400	563
トレーニング室	48,970	47,446	1,524
柔道場	14,017	13,855	162
剣道場	9,036	8,333	703
弓道場	13,048	12,651	397
健康相談室	419	377	42
スポーツ障害相談室	756	158	598
研修室	12,892	12,660	232
会議室	1,069	1,033	36
和室	569	575	△6
その他	15,725	13,736	1,989
合計	313,469	302,062	11,407

(2) 委託料

- ・ 中央監視装置更新実施設計業務委託 825,000 円
- ・ 樹木病虫害被害対応業務委託 462,000 円

(3) 工事請負費

- ・ 公共下水道接続工事 77,880,000 円
- ・ 非常警報設備改修工事 2,860,000 円

(4) 備品購入費

- ・プール更衣室ロッカー 759,000 円

○ 効果

利用者の様々なニーズに応えることにより、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。また、取手市ネーミングライツ事業により取手グリーンスポーツセンターの愛称が「TAC 取手グリーンスポーツセンター」に決定し、ネーミングライツ料を活用して、老朽化が著しいプール更衣室ロッカーの更新を行い、利用者が快適に使用できる環境を整えた。

〔担当：スポーツ振興課〕 P. 459

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 50,055,163 円 (51,371,829 円)

〔その他 11,867,400 円 一財 38,187,763 円〕

＊ 特財内訳

〔使用料：藤代スポーツセンター使用料 8,355,480 円〕

〔手数料：コピー手数料 1,190 円〕

〔諸収入：印刷機使用料 10,730 円〕

〔諸収入：ネーミングライツ料 3,500,000 円〕

○ 目的

生涯スポーツ及び健康づくりの施設として、また、憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適で安全な施設でスポーツを楽しむ場を提供する。

○ 内容

(1) 利用状況 (単位：人)

施設名	R6	R5	増減
アリーナ	26,607	27,110	△503
レクリエーション室	4,930	5,070	△140
多目的グラウンド	5,583	4,886	697
野球場	7,855	9,251	△1,396
テニスコート	10,877	11,510	△633
広場（ピクニック広場、クレア広場）	3,717	3,808	△91
会議室	358	328	30
合計	59,927	61,963	△2,036

(2) 施設維持・管理経費

- ・総合体育館設備保守・清掃業務委託 11,292,600 円
- ・施設管理業務委託 2,517,087 円
- ・屋外施設管理業務委託 4,950,000 円
- ・庭園管理業務委託 8,394,100 円

(3) 修繕一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
藤代スポーツセンター自動券売機新紙幣対応修繕	368,500 円	令和6年7月19日～ 令和6年8月15日	施設使用料を新紙幣での支払いに対応するための修繕
藤代スポーツセンター自動火災報知設備修繕	2,200,000 円	令和6年8月3日～ 令和7年2月28日	自動火災報知設備の経年劣化に伴う修繕

藤代スポーツセンター 野球場修繕	3,938,000 円	令和 6 年 12 月 26 日 ～令和 7 年 3 月 26 日	ネーミングライツ料 を活用して、経年劣 化が著しい野球場バ ックネット及び一塁 側一部のラバーを修 繕
---------------------	-------------	--------------------------------------	--

○ 効果

施設の安全や環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。また、取手市ネーミングライツ事業により藤代スポーツセンターの愛称が「FUYOU アリーナ藤代」に決定し、ネーミングライツ料を活用して、老朽化が著しい野球場バックネット及び一塁側一部のラバー修繕を行い、利用者が安全に使用できる環境を整えた。

〔担当：スポーツ振興課〕 P.461

2402 社会体育施設管理に要する経費（旧取手一中体育施設） 3,265,422 円
(22,998,424 円)

〔一財 3,265,422 円〕

○ 目的

生涯スポーツ及び健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適で安全な施設でスポーツを楽しむ場を提供する。

○ 内容

(1) 利用状況（グラウンド）

項 目	R6	R5	増 減
利用団体数	6 団体	6 団体	0
登録人数	201 人	204 人	△3

(2) 施設維持・管理経費

・雨水貯留槽等点検管理業務委託	385,000 円
・体育館耐震補強・大規模改修工事単価入替業務委託	495,000 円
・樹木剪定草刈清掃等業務委託	1,705,000 円

○ 効果

樹木剪定及び草刈清掃の実施により、利用者の安全性や快適性、美観の向上が図られた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

〔担当：保健給食課〕 P.465

2001 給食センター運営に要する経費 130,577,151 円 (127,582,230 円)

〔その他 111,292,787 円 一財 19,284,364 円〕

* 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,780,000 円〕

〔諸収入：幼稚園給食代 1,150,427 円〕

〔諸収入：小学校給食代センター分 67,502,260 円〕

〔諸収入：中学校給食代センター分 39,860,100 円〕

○ 目的

子どもたちに安全な食材による給食を提供することで、園児・児童・生徒の望ましい食習慣の形成を図るとともに、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

消耗品費 5,563,271 円

賄材料費 115,024,000 円

○ 効果

地産地消食材を使用した献立や SDGs 献立による給食を提供し、子どもたちに給食を通して食への関心を深めることができた。

〔担当：保健給食課〕 P.465

2003 物価高騰に伴う給食費負担軽減事業に関する経費 21,634,785 円
(14,785,000 円)

〈17,254,000 円〉※ 〈 〉 は、うち5年度繰越分

〔国・県〈13,523,000 円〉 その他〈3,731,000 円〉 一財 4,380,785 円〕

＊ 特財内訳

〔国補：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金〈13,523,000 円〉〕

〔繰越金：前年度繰越金〈3,731,000 円〉〕

○ 目的

食材費が高騰する中、保護者に負担増を求めず現在の栄養のバランスや質、量を保った給食を提供する。

○ 内容

賄材料費 21,634,785 円

○ 効果

食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持し、学校給食を提供することができた。

〔担当：保健給食課〕 P.465

2101 給食センター施設整備に要する経費 65,018,704 円 (42,477,929 円)

〔地方債 16,500,000 円 その他 5,500,000 円 一財 43,018,704 円〕

＊ 特財内訳

〔市債：給食センター整備事業債 22,000,000 円×75%＝16,500,000 円〕

〔繰入金：学校施設整備基金繰入金 5,500,000 円〕

○ 目的

学校給食センターの給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、当該施設の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(1) 需用費

(単位：円)

項目	内容	金額
光熱水費	都市ガス代、水道料、電気料	15,442,496
修繕料	調理機器及び施設修繕料	1,446,852

(2) 委託料 (単位：円)

項目	内容	金額
給食運搬業務委託料	各学校への給食配送業務	16,335,000
学校給食センター施設管理 業務委託料	調理機器の保守点検及び施設の維持 管理費、生ごみ収集運搬・リサイ クル処理業務	9,781,644

(3) 備品購入費 (単位：円)

項目	内容	金額
真空冷却機 2 台	経年劣化した真空冷却機の更新	22,000,000

○ 効果

学校給食センター内の衛生管理、施設管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。